

Patchouli and
the Chamber
of Secrets

秘
室
の
部
屋

八
咫
の
姫



R18
DOUJIN
Adult only



キン……

あー
出てきた……っ

あの日

深夜まで
本の整理を
していたら――

まさか
あんなところに
仕掛けが……？

わ……
自動で
閉まって……

ゴ
ゴ
ゴ

偶然にも――

パチュリー様の
隠し部屋を
目撃して
しまいました

咄嗟に
隠れちゃった
けど……

パチュリー様……
こんな夜更けに
何をして……？



いや——
パチュリー様
といえば…

幻想郷随一の
知識人とも
称される御方——

常に探求と研鑽を
欠かさない…
叡智の至宝とも
言うべき人なのです

そんな御方の
隠し部屋…!



今が
チャンス
です…っ

よし…
パチュリー様は
寝所に帰った
みたいですし…

以前には
ロケットを建造した
事もありますし…



きっと中には
高次元魔法か…
巨大ロボットか…っ

たしか
こう開けて
………

はたまた
大悪魔召喚や
人造自立生命体か…!?



想像するに——
あの隠し部屋は

秘密裏に研究を
するための工房に
違いはないのです



僕には想像も
つかないような
ものがあるはず……！

そんなの……
見てみたいに
決まっています！

あっ
——
開きそう

すみません
パチュリー様……
ちよつと……
覗くだけ
ですから……

ゴッ
ゴッ



ちよつと
パチュリー様……っ

朝とはいえ
寝巻のまま
歩き回るのは
だらしがないですよ

ん……
ちよつと
寝不足で……

目覚めのお茶
飲んだら
着替えるから……

もう……
仕方がない
ですね……

ほ……

ん……



じゃあ
あとで図書室に
お持ちしますから
待っていてください



わあああ
ああああッ!?

なん……
なん……
なんで……
開いて……ッ!?



な…なんで
この部屋に
この子が…

い いや
それよりも…

みみみ
見られ…た…

バレた…ツ
私の…秘密…ツ



私が…ここで毎夜…
エロ魔導書の
魔力を浴びて…

甘イキ
しまくってる
事が…!!

ママスイ…
この事がみんなに
知られたら…



こんなもの
集めてるなんて…
なにが
叡智のパチュリー
ですか—っ

これじゃ
エッチな
ムッチュリーですっ!!

友人として
恥ずかしいわ…
ムチムチの
ムッチュリーさん

どぞどぞどぞ
どぞどぞどぞ

スリッパ
スリッパ

え?



—って
アンタも
なにしてるの
おおおおお!?

グハ
グハ



まさか—っ

自我をなくして
エロ魔導書に
操られてるの…っ!?

おしり…
おっきい…
気持ちい…

エロ魔導書の
魔力がこんなに
強かったなんて…っ

おっきいって
言うなあ…!



しかも
擦りつけてる
し—っ!?

や…止め
なさ…っ!

ムムム

という事は
お着替え中
でしたか

これは
失礼しました

そ そうなの!
今日はこのまま
出払うから
あなたも
図書館には
来なくて大丈夫……!!

おっぱい
弄るの
ダメええ……!

はあ……でも
お茶は……?

いらないから!!
全部飲んで
休んでいいから!!

声出ちゃうから
早く行って
ええええええ!!

じゃあ……
今日はお暇を
頂きますね
パチユリー様も
お気をつけて……

ラランッ

イ……イ……ッ

イツ……て
らっしゅ……い……



とはいえ—
相変わらず
暴走はした
まま…

濃密な魔力が
ちんちんに
取り憑いてる…



ふう—

この場は
なんとか…
なった…わね



しる…

—でも

エロ魔導書…
なんて厄介な
代物なの…っ



さすが
私の叡智…

こんな状況でも
活路を
見出したわ…っ！

ほら…

来なさい…♡

たろろろろ



ちんちん握られると大人しいわね……♡

また射精ちゃったね♡
これで4回目……

射精の事しか考えられないのよね？♡



精液を出すたびにこの子から魔力が減っていくのを感じる……♡

うっ
はいはい……
もっとね……♡



はい
5回目のびゆるるう……♡

つまり……
コレさえ治めれば……
私の秘密は
バシらずに済んで……!!
私の尊厳は
守られたまま……!!



にぎにぎしてあげるから……♡

このまま元凶である魔力を出し切れれば暴走は治まるし……♡
自我が戻った時には暴走時の記憶は残ってないはず……!!



所詮——ただの
エロ魔導書…っ

性欲しか
脳の無い単純で
低俗な存在…

そんなもの
私の叡智の前には
無力って事…っ

ふふふ…っ
もう一息
つてとこかしら…

このまま
記憶がなくなるまで
搾り尽くして——



ふお？

なに…これ…っ

身体の中から
ジワジワ快感が
脈打つみたいなの…
精液の中の
魔力のせい…？

そっか…
人を操れるほどの
魔力を濃縮して
抽出されてるから…

こんなの…
直接取り込んだら
…っ





そ そうよ…
ちよつど
手でするのも
疲れたところだし…

射精させるなら
コッチの方が
効率良いし…



やあー！

「じつものが…
合理的…」
私…賢い…
叡智すぎ…



ジュッ

一気に……
ずぼお……って
入っちゃっ……っ
私……そんな……
濡れて……？

おん……

いや……
違うし……
私……全然エッチ
じゃないし……
叡智だし……っ

おん……

おん……

おん……

だから……
魔導書風情に
本気でイカされたり
なんかしないし……

よ 余裕
だけ……
少……
ゆ……
し……
よ……
かな……

おん……





今敏感なおっぱい弄っちゃ...

ちゅちゅ...

ダメ...のう



え...嘘っ
中でビクッて
して...!?

ちよ...っ
まさか...

待って...っ
今はムリ♡
今はダメ♡

今...私っ

イッてる最中
なのに...っ



刺すの...
刺すの...

流れ
込んで...
♡



止まん...
な...
.....
♡

刺すの...

刺すの...

刺すの...



……
こんなのもう……

気持ち
良すぎて……



じゃあ……



そっか……
魔力……治まって
きたのね……



う……あ……
あれ……?

ぼく……は……
一体……?

ああ……



魔力
補充しちゃった

腰背のム...

ああ...
うめん.....

手強い

でも安心
して.....

今度の魔力は
手強いから...
一昼夜かかっちゃう
かも.....



エッチな事させる
わるい魔力は…

せくんぶ
搾りだして
あげるから……

はっ
はっ

はっ

たろ

おん
おん
おん

おん
おん
おん



魔力溜まって
苦しいね…

辛いよね…

はっ

大丈夫
だよ…

今はあ……
何も考えずに…

エッチな事だけ…
射精の事だけ
考えて……え

おん
おん
おん

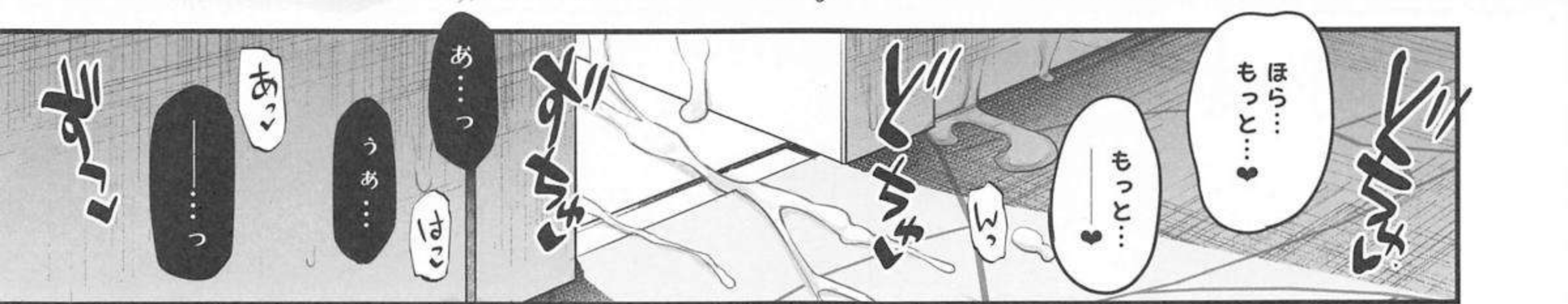
おん

おん
おん
おん



私の瞳内
貴方ので満たされ
ちやうまで……

びゅっびゅ
しちやおうね
……



ほら……
もっ……

もっ……

あ……

うあ……

あ……

……

……



おや
今日は随分
眠そうですね

昨日は
ちやんと
眠れましたか？

あ……
すすい
せん……

昨日は……
その……





おっと——

相乗りする気かい？



とんだ

ハリキリボーイの

おでしたな

作者 みちきんぐ

製本協力 よもぎ

題字 やまさん

発行日 ■ 2023/12/31
発行元 ■ あんみつよもぎ亭
発行者 ■ みちきんぐ
pixiv ■ 2361345

印刷 ■ 株式会社 上野印刷所

画像の転載、データ化、web上での
データ共有はご遠慮ください

Andmitsu Yomogitei.